

- 2 0 号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●●

良い医療を安全に、心を込めて

よい医療を安全に、こころをこめて

院長 木村 格



春はすべての生きものにとって新しい営みの始まる季節です。春の到来を象徴する桜前線が北上し、東北の湘南での開花宣言もいつもより早まりそうです。

人も春を迎えると新しい気持ちになります。新しい環境で、新しい人生を歩み始める人も多いと思います。すべてが外に向かって大きく成長し始めるエネルギーに満ちた季節です。病院でも人事異動があり、新しい仲間を迎えます。職員一人ひとりが病院を利用していただくすべての方のために心をこめて奉仕を続けます。

この春から新しい5年間の国立病院機構第2期中期計画が始まります。第1期中期計画は国民からとても良い評価を受けて終了しました。第2期の計画として患者の目線に立った医療、安心・安全な、質の高い医療の提供を掲げています。

医療を受けるすべての人に対して、どんな内容の医療を受けていただくのか、複数の診断・治療方針がある場合には夫々良いところも悪いところも分かりやすく説明がなされ、選択できることが大切です。説明は医師だけではなく看護師、ケースワーカー、時にはリハビリテーションのスタッフが一緒に同席し、相談しやすい環境を創ることも必要です。医療を受ける人の価値観を尊重し、ご本人の自己管理を支え、ご家族を含めた利便性にも十分配慮する必要があります。現在、医療の安全を徹底するために医療安全を専門に管理するリスクマネージャーを配置し、病院のすべての場所での医療安全と環境整備に努めています。長期療養



を要する難病や慢性疾患に対しては病気の管理だけではなく、病気を持つ人を中心に、ご家族に対する精神的な支え、地域社会での役割、就労や就学など生活の質の向上につながる支援を行い、生活の自立に向けた医療の提供が必要です。ここでも医師、看護師だけではなくリハビリテーション・スタッフ、薬剤師、栄養士、介護スタッフなど病院全職種とのチーム医療、業務補完がとても重要になります。

平成 2 1 年度には新しい病棟建設が始まります。病院に対して皆さまからのご意見やご要望も歓迎しています。皆様のための病院として「良い医療を安全に、心を込めて」を実施して行くつもりです。

新病棟完成予想図（平成 2 2 年 5 月 予定）

～ 遠隔画像診断のお話 ～

皆さんは遠隔画像診断というのをご存知でしょうか？

例えば、お腹が痛くて内科を受診したとしますね。先生が診たら、「どうやら内科の病気ではなさそうだな」となったとします。各科の先生は自分の専門以外のことはあまり詳しくありませんから、さてさて？、となるわけです。大きな総合病院では、院内の専門医に紹介すれば良いのですが、全ての科が揃っている病院なんてそうそうあるものではありません。こんなとき遠隔画像診断というのが役に立ちます。遠く離れた病院の先生が、CTやMRIの画像をインターネットを使って診断してくれるわけです。これで、総合病院に負けない診断力が手に入ったも同然です。宮城病院では2008年12月から開始していて、すでに多くの患者さんが遠隔画像診断の力を借りて治療を続けています。撮影後の画像の流れを少し詳しく見てみましょう。



まず最初に、個人名や生年月日など個人を特定できる情報が削除されます。これは個人情報の漏洩を防ぐためで、病院といえどもその例外ではありません。次に画像センターというセキュリティが整った場所のサーバーに送信し一時的に貯めてもらいます。読影する先生も病院で働いていますから、見てもらえるまで待つわけです。先生は仕事がひと段落した頃、読影するために画像センターに画像を見に行きます。行くといっても、インターネット回線を介してなので、移動する必要はありません。そして読影後は、診断したレポートが逆の経路をたどって宮城病院へ戻ってくるというわけです。



現在、遠隔画像診断は病院内の診療だけでなく、当院のCT/MRIを共同利用していただいている近隣の先生方にも提供しています。

宮城病院のCT/MRIと遠隔画像診断・・・もっと皆さんが利用して、地域に広がる大きな総合病院という感じになると、いいですね。

(撮影透視主任 齋藤 雅伸)

撮影に関する問い合わせは「放射線科」へ
事務手続きに関する問い合わせは「医事 専門職」へ
0223-37-1131(代表)

職場紹介 ～ 薬剤科 ～



4月1日付で高橋喜久子調剤主任が昇任で異動し、代わって米沢病院から高橋聖(さとる)調剤主任を昇任で迎えました。同じ名字でわかりやすく、毎日の業務分担表も手直しの必要が無く、委員会・服薬指導病棟の担当も同時に引き継ぎしましたので、薬剤科が目指す「効率アップ」に叶った？人事異動でした。平均年齢も大きく、足を引っ張る私以外は、卒業年がやや平成に近い大塚副薬剤科長、そして4人(高橋・小田原・東條・渡邊薬剤師)は、平成11年以降卒の若者になり、約4歳も低くなりました。(前主任に失礼？「平均年齢がグッと下がりますね」は彼女が言った言葉です。)これで薬剤科は1年で半数が入れ代わったことになりましたが、私達の任務は停滞させることなく調剤や情報、知識と技術を通して患者さんや医療スタッフに薬に関する安全と安心を提供することです。「くすりはリスク」「努力は無限で工夫は無数」を合い言葉に頑張りますのでよろしくお願ひします。(薬剤科長 鳥海 良明)

プリセプター研修

平成20年4月～21年3月までのプリセプター研修活動を通して感想を頂きましたのでご紹介します。



プリセプターとして活動する中で、新人さんの体調を崩さずに出勤する姿勢、患者さんと笑顔で会話している姿勢、学ぶ努力をしている姿勢を感じることが出来て、様々な不安や悩みを抱えながらも頑張っていることに嬉しくなり、自分も頑張らなくてはという気持ちになりました。

また、病棟全体で新人さんをサポートしようという周りのスタッフの温かさを知り、たくさんの方の支えがあって学ぶことが出来るのだと改めて実感することが

出来ました。

一年間新人さんと共に多くの学びを得ることができ、プリセプターとして活動して良かったです。今後もみんなと協力して頑張っていきたいと思います。

(あすなる3病棟看護師 佐藤 瑞樹)



プリセプターとして、初めは新人さんとのコミュニケーションに戸惑いましたが、常に声をかけるよう心がけてきました。新人さんにとっては、勤務中に声をかけてもらえるだけで安心でき、励みになっていたのだとわかり、私は声かけぐらいしか出来ていなかったと思っていましたが、それがすごく大切なことだったのだと改めて感じました。

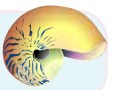
また、一年間のプリセプターとして活動してきて、病棟スタッフの皆さんにたくさんフォローしていただき、一人で悩むことなく、病棟全体で新人さんを育てていこうという雰囲気ができていました。新人さんからも、「スタッフみんな優しく、楽しく働いています」という言葉も聞け、看護を学んでいく上で、とても良い環境だったと思います。

プリセプターは大変なこともあります。自分自身にとって良い経験となり、新人さんから学ばされることもあり、とても勉強になりました。今後もこの経験を生かし頑張っていきたいと思います。

(あすなる3病棟看護師 長田 麻美)



紹介医療機関 (3月末日現在) ご紹介ありがとうございます。



- ・松村クリニック (142件)
- ・公立相馬総合病院 (77件)
- ・やべ内科クリニック (42件)
- ・浜吉田駅前内科 (39件)
- ・広南病院 (38件)
- ・みやぎ県南中核病院 (77件)
- ・金上病院 (59件)
- ・平田外科医院 (42件)
- ・東北大学病院 (39件)
- ・仙台厚生病院 (35件)

上位10医療機関のほか、県内外187医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成21年4月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科		清野 仁	清野 仁		清野 仁	
		志澤 聡一郎		福井 晃矢	志澤 聡一郎	福井 晃矢
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
						仙台医療センター医師
神経内科	新患	木村 格	清水 洋	久永 欣哉	藤盛 寿一	大隅 悦子
	再来	今井 尚志	今井 尚志	藤盛 寿一	久永 欣哉	清水 洋
		清水 洋	大隅 悦子	木村 格	木村 格	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)
呼吸器科			芦野 有悟			
消化器科		未 定				
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科			木村 格 (神経内科)	小島 誠一 (13時から)		
整形外科		芳賀 盛 (14時から)				
形成外科						澤村 武 東 秀子 週交代 (13時30分～)
脳神経外科		永松 謙一	安藤 肇史	永松 謙一	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科					大隅 悦子	
		齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	木村 格	木村 格	木村 格		

受診される方へ

受付時間は8:30～11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

J R 常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

J R 常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

